

令和3年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
コース名	中小企業のための生産改善・革新セミナー (5)コミュニケーションスキル向上 ～相手に伝わる発話による情報伝達、マニュアルの作成方法と活用方法～
実施日時	① 令和3年 9月29日（水） 18:00～21:00
	② 令和3年10月 6日（水） 18:00～21:00
	③ 令和3年10月13日（水） 18:00～21:00
	④ 令和3年10月20日（水） 18:00～21:00（計12時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大10名程度まで）
募集対象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注 意 点	<p>中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(7)は企業などの現場改善を行う同一講師が全て担当しています。(1)～(7)の全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」と一部連携しています。現場の課題解決に具体的に取り組みたい方は<u>産業技術専攻科の活用</u>もご検討ください。</p>
講 座 内 容	<p>現場の改善を行うためには、現場の状況を把握するための対話、そして改善策を理解し、実行してもらうための情報伝達など、コミュニケーション能力が非常に重要となります。この意思疎通を誤りなく行うためには発話コミュニケーションだけでなく、標準作業書、マニュアルの作成などの文書による情報伝達も注意する必要があります。</p> <p>本講座では、担当者が実験や大学の講義で取り組んできた結果や文献に基づき、誤りなく伝達を行うための方法を習得します。なお、この講座で用いているコミュニケーショントレーニングツールは担当者が開発したもので、様々な企業の職員を対象としたトレーニング等でも使用しています。</p>
目 標	発話や文書でのコミュニケーションが円滑になること。
履 修 項 目	①コミュニケーションの失敗による影響 ②コミュニケーション、伝わったかの確認 ③発話による情報伝達演習 ④文書による情報伝達演習 ⑤マニュアル・標準作業書の作成方法と管理 ⑥組織における効果的な情報共有
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし

受講費用	受講料：6,000円（12時間コース）					
	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）					
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<p>○ この講座に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門課程での単位互換はない。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「コミュニケーションスキル」の受講を一部免除する。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>本セミナーの担当講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後約 20 年、生産など様々な現場の改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら 10 年以上開講し、延べ 700 名近い方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>基本的に対面での実施を予定しておりますが、状況に応じて遠隔などで実施することがございます。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を 10 名とした。</p>					